

就実大学

薬学部部長 塩田澄子

岡山大学薬学部卒、同大学院薬学研究科修士課程修了。2001年博士号を取得し、2003年就実大学薬学部に着任。2019年から薬学部長として大学運営にも携わる。専門は感染症学など。

就実大学

薬学部薬学科5年生 河野雅江

幼い頃から祖母が病気で苦しむ姿を見て、「自分も病気の人の支えたい」と思うようになったことが薬学部を目指すきっかけに。将来は医薬品の研究職への道も考えているそう。



一般財団法人タイオン奨学基金 代表理事 藤井大温
在宅特化型調剤薬局と有料老人ホーム相談事業を運営する「株式会社タイオン365」代表取締役。前職ではドラッグストアに勤務しており、薬剤師としての現場経験も長い。

薬学の道に進む学生を 資金面から支援し、 人間性豊かな薬剤師を育成。

対談インタビュー

一般財団法人タイオン奨学基金 × 就実大学

薬学部学生を資金面で支える 完全給付型の奨学金制度。

藤井 近年、薬剤師の職能や職域が拡大し、慢性的な人材不足が続いています。その現状を解消し、ひとりでも多くの優秀な薬剤師を育成したいとの思いから、薬学の道へ進む学生を資金面から支える「タイオン奨学基金」を2017年に設立しました。これは返還義務のない完全給付型奨学金で、卒業後の特定企業への入社義務も発生しません。ほかの奨学制度との併用も可能です。対象は、①薬学部薬学科に在籍しており、本人もしくは保護者が岡山県内に在住していること。②人物学力ともに優れ、かつ向上心があり、日本国籍を有すること。としています。募集は1年生を

対象に年間10名程度。大学入学後の申請により、学生の成績や親の収入などを総合的に審査・選考したうえで決定。月額3万円を6年間支給しています。

塩田 就実大学では、のべ43人の学生が「タイオン奨学基金」を利用させていただいています。親族以外の人に「薬剤師になること」を支えてもらっているということがとても心強く、学生の勉強に対するモチベーションアップにもつながっていると思っています。それに加えて、藤井代表理事をはじめとする財団の方々に、学生たちから感謝の気持ちを伝える場を設けていただいていることにもお礼を申し上げます。

河野 私は大学3年次から、「タイオン奨学基金」の支給を受けています。参考書の購入や健康食品管理士

の資格取得などに活用させていただきました。「奨学金」という、お金以上の愛情をいただいていることがうれしく、自分も社会に出てから恩返ししていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

薬学部での学びを通して、 人間性豊かな薬剤師を育成。

河野 現在5年生の私は、5カ月にわたる実務実習でさまざまなことを学ばせていただきました。実習先の病院では、「薬剤師の仕事は処方箋に基づいた正確な調剤業務はもちろん、その薬が退院後の患者さんの生活に合った調剤になっているかどうかも考えないといけない」という患者さんひとりひとりに合わせた対応が大切だという理念を教わりました。もうひとつの実習先は地域に根ざしたかかりつけ薬局で、患者さんとの距離が近く感じられました。こちらでは、「薬剤師は医療のことだけでなく、生活にかかわる科学的なことにも相談にのれる『まちの科学者』のような存在であるべき」という想いを教えていただきました。

塩田 薬剤師は、昔から「まちの科学者」と呼ばれています。というのも、大学で生命の科学を総合的に



学んでいるからなんです。近年は、社会にあふれているデータから価値を引き出す「データサイエンス」が重要視されていることから、当学部では世界でもっとも信頼性が高いとされるデータベース「コクラン・ライブラリー」を導入し、5年次の実務実習前にデータベースを立てる「薬学統合演習」で活用しています。

河野 大学では、1年次に「サイエンスコミュニケーション」という授業があつて。カードゲームの要素を取り入れ、グループでコミュニケーションを取りながら、化学・物理・生物の基本事項を学ぶことができるんです。グループの仲間と会話が弾み、とても仲よくなりました。

塩田 2003年に大学内に薬学部を新設したときからコミュニケーション能力の重要性に着目し、全国に先駆けて「対話演習」を必修科目にして、人間性豊かな薬剤師の育成を目指してきました。そのことを、学生である河野さんが授業を通して感じ取ってくれたことに、教員としてうれしく思います。

藤井 大学の授業のなかに、「コミュニケーション」の機会を作っているから

こそ、実習や実践の場で生かされていることがよくわかりました。
勉学に励む薬学部学生を
継続して支援していく。

塩田 このコロナ禍で、当大学でも授業や会議などでオンライン化が進んでいます。医療の現場でも、オンライン診療やオンライン服薬指導に加え、患者さん宅への処方薬の配達サービスも始まっています。これからの薬剤師の仕事は薬の知識の習得のみならず、オンラインでの対応やIT技術を活用するスキルも必要になると感じているところです。いつ봐で、今後在宅医療が進むにつれて、薬剤師は患者さんにとってより身近な存在になっていくことでしょう。薬剤師になってからも幅広く勉強を続けていってもらい、地域の方の役に立つような、ちょっとしたことも柔軟に対応できる薬剤師を目指してほしいと思います。

藤井 そうですよ、薬剤師の職能はますます広がっていますから。

河野 私は患者さん一人ひとりの悩みに寄り添い、解決できるような人材になれたらと。そして、「私にはこの人だ」と思ってもらえるような信頼される薬剤師を目指したいです。

藤井 私たちの仕事は、河野さんをはじめとする学生を6年間サポートし続けることです。そのためには継続してやっていくことに価値があると思っています。たとえどんな困難が降りかかったとしても、学生の本分である学業に専念できるように、今後もしっかりと支援を行っていきます。

奨学金支給制度の概要

給付額
月額 3万円(返還義務なし)

給付期間
原則として決定年の4月より6年間
(最短修学年限)

奨学生 募集中

2021年度の募集につきましては、
ホームページをご覧ください。

Hさん(2020年3月卒業)

奨学金を支給していただき、本当にありがとうございました。私は3人姉妹で、全員私学に通っているため、両親への金銭的負担や、勉強とアルバイトとの両立を気にしながらというのが現状でした。そんな折、5年生からこの奨学金をいただくことができたので、そのぶんアルバイトを減らして勉学に励むことができました。心より感謝申し上げます。

がとても困難でした。それでも、「タイオン奨学基金」のおかげで、アルバイトをすることなく学業に専念できたので、無事に薬剤師になることができたと思っています。とても感謝しています。

VOICE 奨学生の声



Tさん(2020年3月卒業)

私は、アルバイトなしでは生活が厳しい状況でした。大学1~4年生まではアルバイトと学業との両立をなんとかこなしていましたが、実務実習の時期や国家試験の勉強、卒業論文で忙しい時期はアルバイトをすること